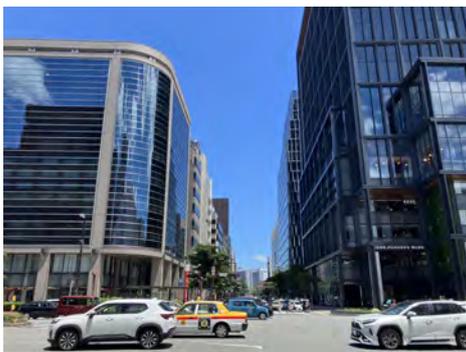




まちづくりの方向性

- 天神では、国際競争力を備えた商業や業務などの都市機能の誘導や、歩行者ネットワークの充実・強化による回遊性向上、豊かなみどりなどにより、彩りと潤い、賑わいなどが感じられる魅力あるまちづくりを進めます。
- 舞鶴公園・大濠公園では、都心部に近接した貴重な緑地空間として、市民の憩いの場の形成や、歴史資源を生かし、文化芸術と融合した観光・交流拠点の形成を図ります。
- 六本松では、鳥飼・別府とともに、日常生活に必要な商業機能などの諸機能の集積を生かした拠点の形成を図ります。
- 多くの人や物が集中し交流する都心部を支える交通環境づくりに取り組みます。また、地域の実情に応じた生活交通の確保、公共交通や道路のバリアフリー化の推進など、すべての人にやさしい安全・安心な交通環境づくりなどに取り組みます。
- 都心部では、水辺や通り、広場などのオープンスペースを活用し、花や緑、文化芸術、歴史などにより、彩りと潤い、賑わいがある魅力的なまちづくりを進めます。
- 住宅地では、地域特性に応じたみどり豊かで良好な住環境や魅力的な景観づくりに取り組み、快適で心豊かに住み続けられる日常生活圏の形成を図ります。
- 警固断層周辺では、中高層建築物の耐震強化を促進するとともに、那珂川などにおいて浸水対策を進めるなど、安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組みます。



天神



舞鶴公園

将来像とまちづくりの視点

全体構想における「将来の都市構造」をもとに、区内の各地域の特性に応じて、拠点・ゾーン・軸に分類し、まちの将来像やまちづくりの主な視点などについて、以下のとおり整理します。

<拠点など>

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点
都心核 	(天神) 国際競争力を備えた商業や業務などの都市機能が集積し、彩りと潤い、賑わいなどが感じられる魅力ある地区	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高度な都市機能の誘導 ○ 利便性の高い立体的な歩行者ネットワークの充実・強化 ○ 広域交通拠点等における交通機能の強化 ○ 福岡の顔にふさわしい景観・みどりの創出とオープンスペースを活用した魅力づくり ○ 多様な主体との連携による賑わいの創出
都心拠点 	(天神北) 都心核(天神)に近接するとともに、文化、スポーツ、食、緑や水辺など多様な魅力を生かし、人々が憩い・集う拠点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な魅力の連携による地区の活性化 ○ 水辺を生かしたまちづくり ○ 商業・業務機能の誘導 ○ 魅力的な回遊空間の創出 ○ 周辺地区との連携強化
	(渡辺通) 地下鉄七隈線の利便性を生かし、周辺環境と調和したビジネス機能などが集積する拠点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商業・業務機能の誘導 ○ 周辺地区との連携強化 ○ 居住環境との調和
地域拠点 	日常生活に必要な商業機能や市民サービス機能などの諸機能が集積した地域の拠点	(六本松) <ul style="list-style-type: none"> ○ 地下鉄七隈線を生かしたまちづくり ○ 日常生活に必要な商業機能などの誘導と交流機能等を生かした賑わいの創出 ○ 商店街の活性化 ○ 交通結節機能の充実・強化 ○ 地域のシンボルとなる緑豊かな景観の誘導
生活商業地 	近隣住民が日用品の買い物をする店舗などが集積する賑わいのある便利なまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活に必要な商業機能などの誘導 ○ 商店街の活性化 ○ 安全・安心な交通環境づくり

<拠点など>

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点
魅力・活力創造拠点 	(舞鶴公園・大濠公園地区) 都心部に近接した貴重な緑地空間としての市民の憩いの場及び歴史資源を生かし、文化芸術と融合した観光・交流拠点	○舞鶴公園・大濠公園の一体的な活用 ○福岡城跡や鴻臚館跡の整備・活用 ○来園者が集い憩える機能の強化 ○周辺地域と連携したまちづくりの推進
	(シーサイドももち) 情報関連産業の集積拠点及び文化・エンターテインメントなどの既存資源を生かした観光・MICEの拠点	○観光・MICEの振興 ○情報関連産業の誘導 ○西新・藤崎地区との回遊性向上
都市軸 	福岡市の骨格となる重要な交通ネットワークを受け持つ道路の沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	○沿道の有効利用 ○後背地などの周辺環境への配慮 ○交通ネットワークの充実・強化 ○連続性のある良好な街並みの形成
沿道軸 	幹線道路沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	

<環境資源などを保全・活用するエリア>

ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点
歴史景観拠点ゾーン 	史跡などの歴史資源を生かした景観が形成されている鴻臚館跡・福岡城跡を中心とした舞鶴公園・大濠公園及び周辺地区	○歴史資源を生かした空間づくり ○緑の保全 ○緑豊かで魅力的な景観の形成
みどりの輪・みどりの帯 (森の緑地環・緑の腕)	都市の環境保全と福岡らしい風景を形成するとともに、市民の憩いの場となる丘陵地、大規模公園	○舞鶴公園・大濠公園や南公園、鴻巣山などの豊かな自然の活用 ○生物多様性の保全・回復・創出
河川緑地軸 	那珂川など、都市に美しい景観と身近な潤いを創出するとともに、市民の散策・憩いの場となる水辺空間	○河川沿いの緑化など美しい都市景観の形成 ○親水性の向上 ○生物多様性の保全・回復・創出 ○安全で快適な都市基盤の整備
博多湾水際帯	連続する緑地と水際空間を形成するとともに、市民の憩いの場となる海浜公園	○みどりの連続性の確保 ○生物多様性の保全・回復・創出

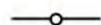
※「みどりの輪・みどりの帯(森の緑地環・緑の腕)」、「博多湾水際帯」の位置・範囲は、第3章全体構想「みどりづくりの基本的な方針(みどりの将来像図)」参照。

<土地利用などの現況から市街地を類型化したエリア>

ゾーン	現況	まちづくりの主な視点
都心核周辺ゾーン 	都心核周辺の商業・業務施設と中高層住宅が立地するまち	<input type="checkbox"/> 高い指定容積率の有効活用 <input type="checkbox"/> 緑化の推進 <input type="checkbox"/> 都心核・拠点との連携
複合市街地ゾーン 	住宅を中心に、商業施設・業務施設が立地する市街地	<input type="checkbox"/> 良好な居住環境の形成 <input type="checkbox"/> 居住環境と調和した商業・業務機能の誘導 <input type="checkbox"/> 安全・安心な交通環境づくり <input type="checkbox"/> 緑化の推進
中高層住宅ゾーン 	大規模な住宅団地などの中層住宅や高層住宅が立地する住宅地	<input type="checkbox"/> 中高層住宅地としての良好な居住環境の形成 <input type="checkbox"/> 生活利便性の確保 <input type="checkbox"/> 安全・安心な交通環境づくり <input type="checkbox"/> 緑化の推進 <input type="checkbox"/> 住宅の老朽化への対応
低中層住宅ゾーン 	戸建住宅などの低層住宅が大部分を占めるが、一部中層住宅などが立地する住宅地	<input type="checkbox"/> 低中層住宅としての良好な居住環境の形成 <input type="checkbox"/> 生活利便性の確保 <input type="checkbox"/> 安全・安心な交通環境づくり <input type="checkbox"/> 緑化の推進 <input type="checkbox"/> 住宅の老朽化への対応
低層住宅ゾーン 	主として戸建住宅などの低層住宅が立地する住宅地	<input type="checkbox"/> 低層住宅地としての良好な居住環境の形成 <input type="checkbox"/> 生活利便性の確保 <input type="checkbox"/> 安全・安心な交通環境づくり <input type="checkbox"/> 緑化の推進 <input type="checkbox"/> 住宅の老朽化への対応
港湾機能ゾーン 	市民生活や地域経済を支える海上物流機能が集積するみなと	<input type="checkbox"/> カーボンニュートラルポートの形成 <input type="checkbox"/> 東西のアクセスや周辺との接続動線の強化 <input type="checkbox"/> 将来的なあり方の検討
緑地・丘陵地 	西公園から油山までつながる豊かな緑	<input type="checkbox"/> 森林などの保全・活用と管理活動の充実 <input type="checkbox"/> 無秩序な開発の抑制

将来像図

[凡 例]

-  都市計画道路等
-  自動車専用道路
-  地下鉄
-  鉄道
-  航路
-  大規模施設・大規模公園
-  区界

● 拠点など ●

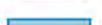
-  都心部
-  都心核（天神）
-  都心拠点（渡辺通、天神北）
-  地域拠点
-  生活商業地
-  魅力・活力創造拠点
-  都市軸
-  沿道軸
-  西部広域拠点

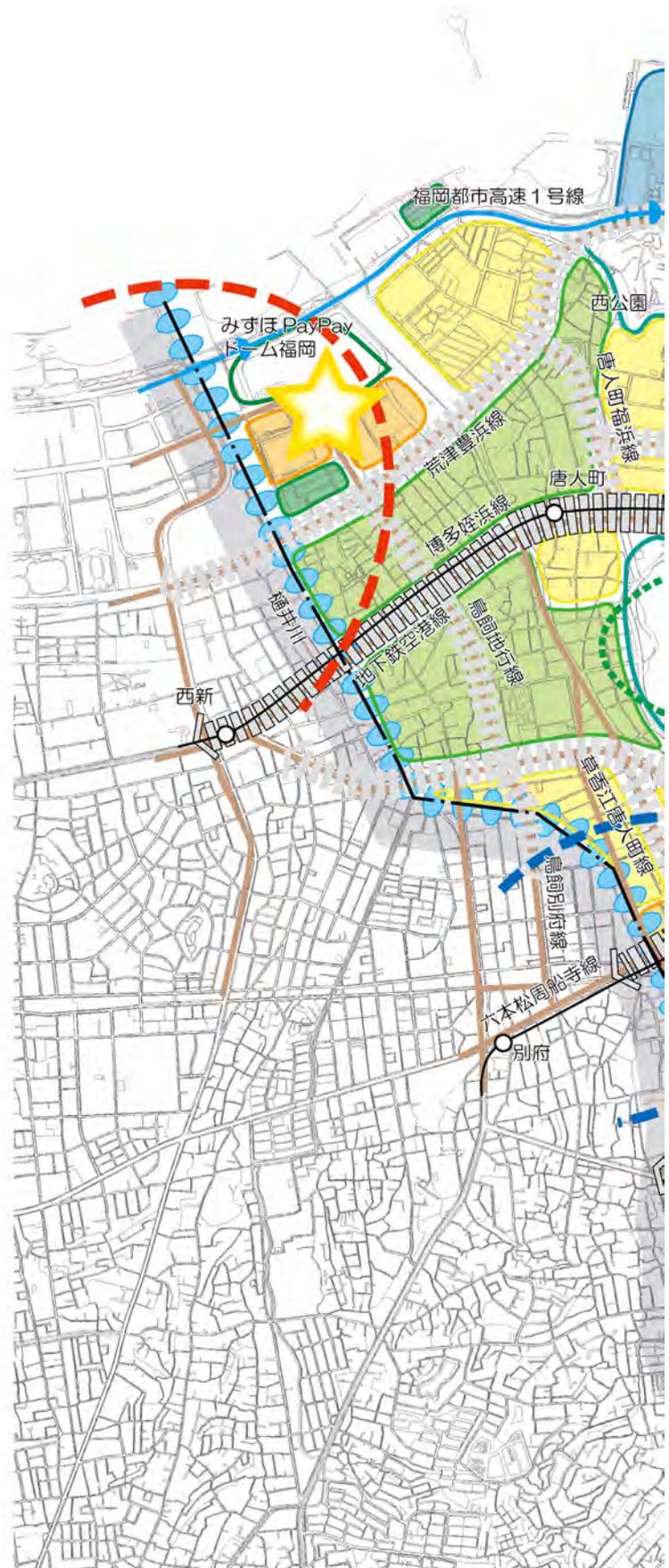
● 環境資源などを保全・活用するエリア ●

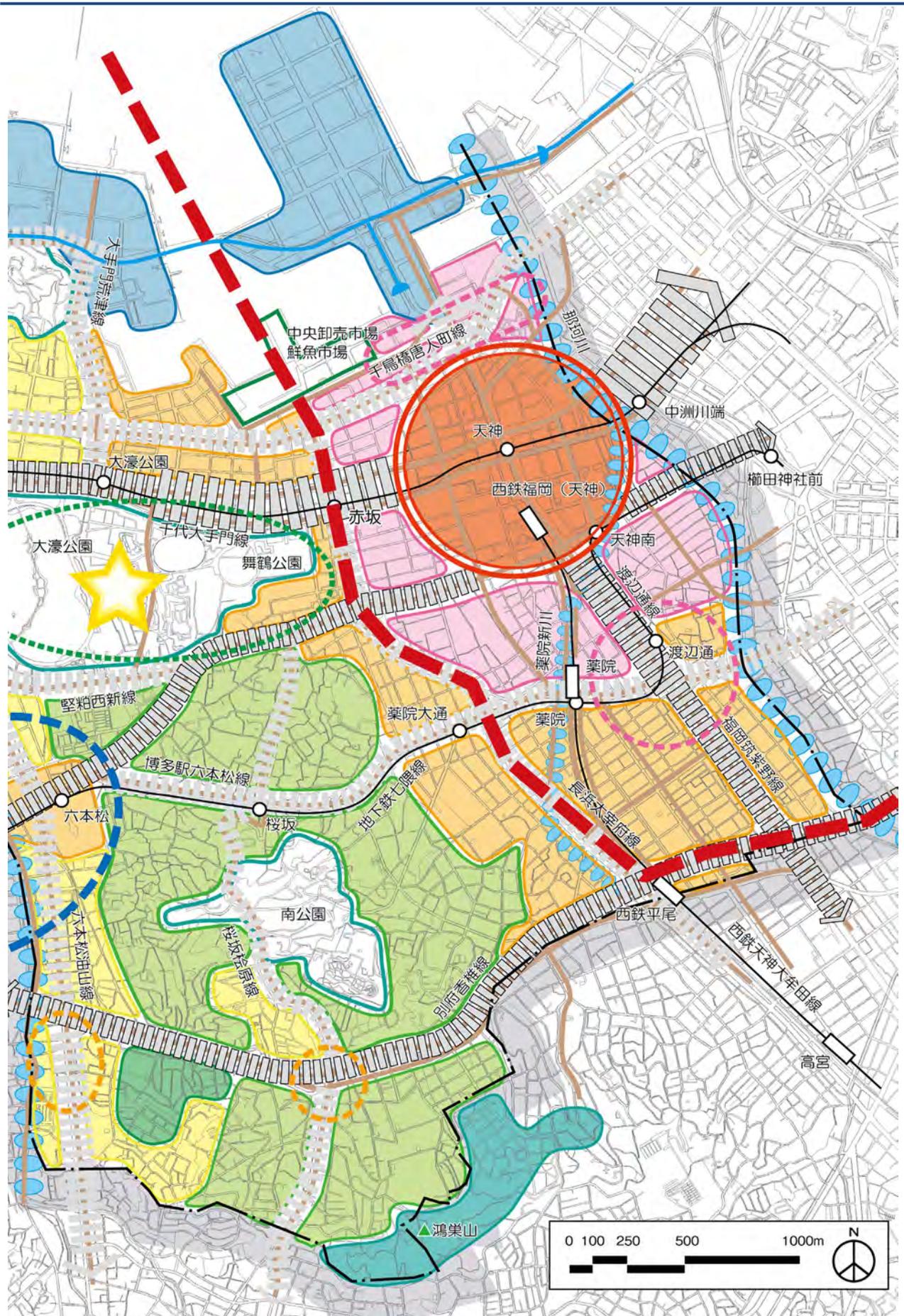
-  歴史景観拠点ゾーン
-  河川緑地軸

● 土地利用などの現況から

市街地を類型化したエリア ●

-  都心核周辺ゾーン
-  複合市街地ゾーン
-  中高層住宅ゾーン
-  低中層住宅ゾーン
-  低層住宅ゾーン
-  港湾機能ゾーン
-  緑地・丘陵地





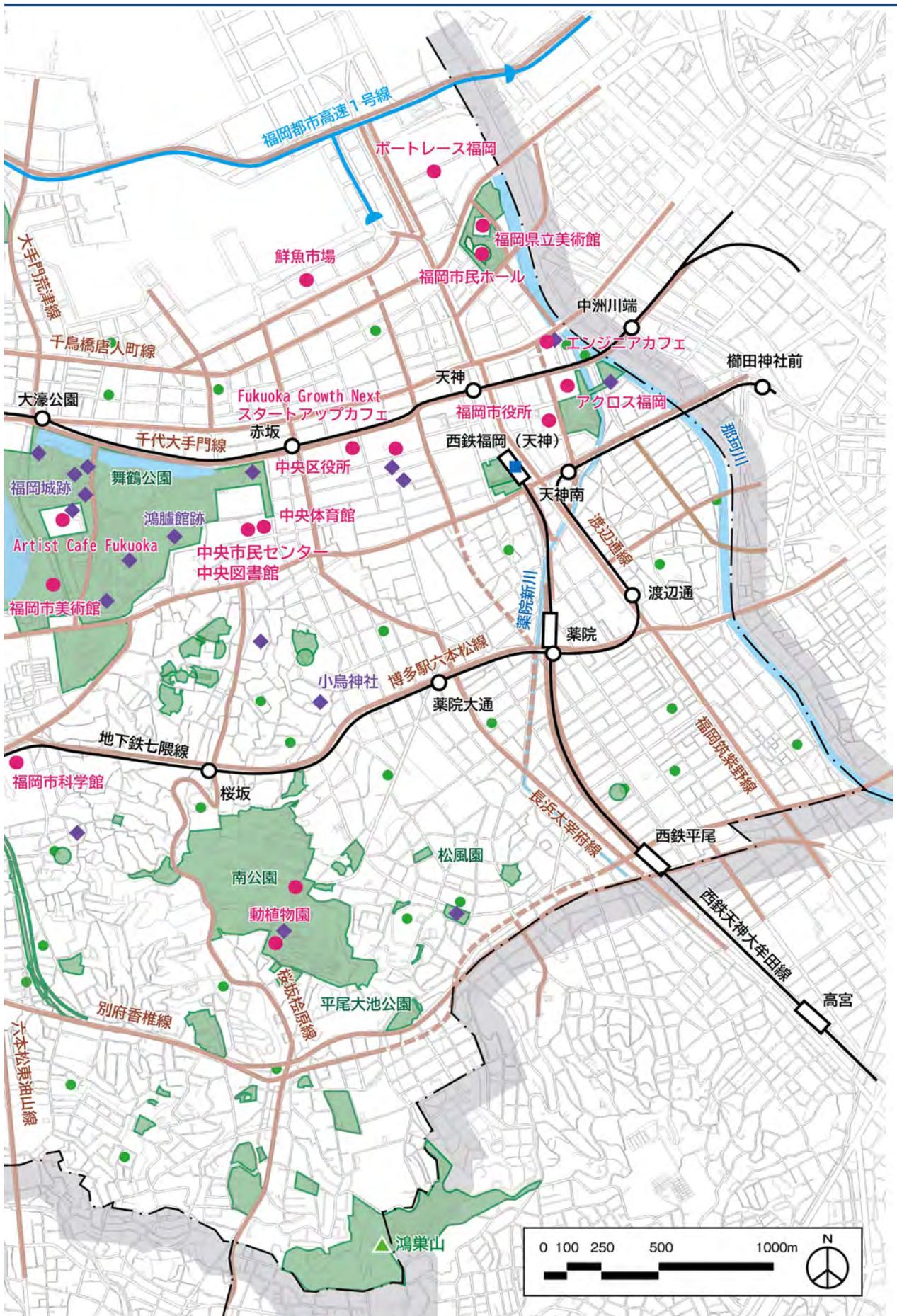
現況と課題

[凡 例]

- | | | | |
|---|------------------|---|---------|
|  | 都市計画道路等（整備済・概成） |  | 主な公共施設 |
|  | 都市計画道路等（未整備・整備中） |  | 大学 |
|  | 自動車専用道路（整備済・概成） |  | 文化財・寺社 |
|  | 地下鉄 |  | バスターミナル |
|  | 鉄道 |  | 区界 |
|  | 航路 |  | 主な公園・緑地 |
|  | 主な公園・緑地 | | |

- 天神地区は、鉄道やバス網の結節点となる交通の要衝であり、耐震性が高い先進的なビルへの建替えにより、新たな空間や雇用が生み出されています。百貨店をはじめ数多くの商業施設や多様な飲食店が立ち並び、九州はもとより国内外から訪れる人で活気にあふれ、多くの都市機能を有する国際化に対応したまちへ発展しています。
- 西公園から舞鶴公園・大濠公園、動植物園のある南公園、鴻巣山と豊かな緑にも恵まれています。
- 大陸から訪れる人々の迎賓館の役割を果たしていた鴻臚館跡や、黒田長政が築城した福岡城跡など、貴重な歴史的文化遺産が身近にあります。
- 市民ホールや市美術館などの文化施設や金融機関、Fukuoka Growth Next といった官民共働によるスタートアップ支援や交流などの拠点となる施設、鮮魚市場、こども総合相談センターや認知症フレンドリーセンターなどの福祉関連施設が立地するほか、プロ野球をはじめ、スポーツ・音楽などのイベントが数多く開催されるスポーツ・エンターテインメント施設があります。
- 約9割の世帯が共同住宅に住んでおり、単身世帯は全世帯の約6割にのぼっています。また、人口の流動も大きく、地域コミュニティの希薄化や、それに伴う子育て家庭や高齢単身世帯の孤立化、地域防災力の低下などが課題となっています。
- 更新期を迎えたビルの建替えなどにより、まちの姿が変わりつつある中で、中央区が持つ多様な魅力を継承し、さらに磨きをかけていく必要があります。







南区のまちづくり

まちづくりの方向性

- 大橋では、交通結節機能の高さを生かした福岡市南部の拠点の形成を図ります。また、長住・花畑では、日常生活に必要な商業機能などの諸機能の集積を生かした拠点の形成を図ります。
- 地域の実情に応じた生活交通の確保、公共交通や道路のバリアフリー化の推進など、すべての人にやさしい安全・安心な交通環境づくりなどに取り組みます。
- 油山や鴻巣山、那珂川、ため池などの水辺では、豊かな自然環境を保全するとともに、市民が身近な自然に親しみ、ふれあい、憩える場として活用を図ります。
- 住宅地では、地域特性に応じたみどり豊かで良好な住環境や魅力的な景観づくりに取り組み、快適で心豊かに住み続けられる日常生活圏の形成を図ります。
- 警固断層周辺では、中高層建築物の耐震強化を促進するとともに、那珂川などにおいて浸水対策を進めるなど、安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組みます。
- 区内及び近接地に立地する九州大学芸術工学部、香蘭女子短期大学、純真学園大学、精華女子短期大学、第一薬科大学、福岡女学院大学といった特色ある大学・短大などの多様な主体と連携し、各主体がもつ専門的な人材や知見を生かしたまちづくりを進めます。



大橋



油山牧場

将来像とまちづくりの視点

全体構想における「将来の都市構造」をもとに、区内の各地域の特性に応じて、拠点・ゾーン・軸に分類し、まちの将来像やまちづくりの主な視点などについて、以下のとおり整理します。

<拠点など>

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点	
南部広域拠点 (大橋) 	大橋を核として、交通結節機能の高さを生かし、商業・業務機能や市民サービス機能などの諸機能が集積した福岡市南部の拠点	広域 拠点核 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商業・業務機能などの誘導 ○ 商店街の活性化 ○ 交通結節機能の充実・強化 ○ 連続性のある街並みや緑化などによる都市景観の形成
		広域拠点核 連携ゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共・公益・文教施設立地の特性を生かした街並みの形成
地域拠点 	日常生活に必要な商業機能や市民サービス機能などの諸機能が集積した地域の拠点	(長住・花畑) <ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活に必要な商業機能などの誘導 ○ 商店街の活性化 ○ 交通結節機能の充実・強化 	
生活商業地 	近隣住民が日用品の買い物をする店舗などが集積する賑わいのある便利なまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活に必要な商業機能などの誘導 ○ 商店街の活性化 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 鉄道高架化による道路や地域の分断解消(井尻) 	
都市軸 	福岡市の骨格となる重要な交通ネットワークを受け持つ道路の沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 沿道の有効利用 ○ 後背地などの周辺環境への配慮 ○ 交通ネットワークの充実・強化 ○ 連続性のある良好な街並みの形成 	
沿道軸 	幹線道路沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地		

<環境資源などを保全・活用するエリア>

ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点
みどりの輪・ みどりの帯 (森の緑地環・ 緑の腕)	都市の環境保全と福岡らしい風景を形成するとともに、市民の憩いの場となる森林、丘陵地	○油山や鴻巣山などの豊かな自然の活用 ○生物多様性の保全・回復・創出
河川緑地軸 	那珂川やため池など、都市に美しい景観と身近な潤いを創出するとともに、地域の散策・市民の憩いの場となる水辺空間	○河川沿いの緑化など美しい都市景観の形成 ○親水性の向上 ○生物多様性の保全・回復・創出 ○安全で快適な都市基盤の整備

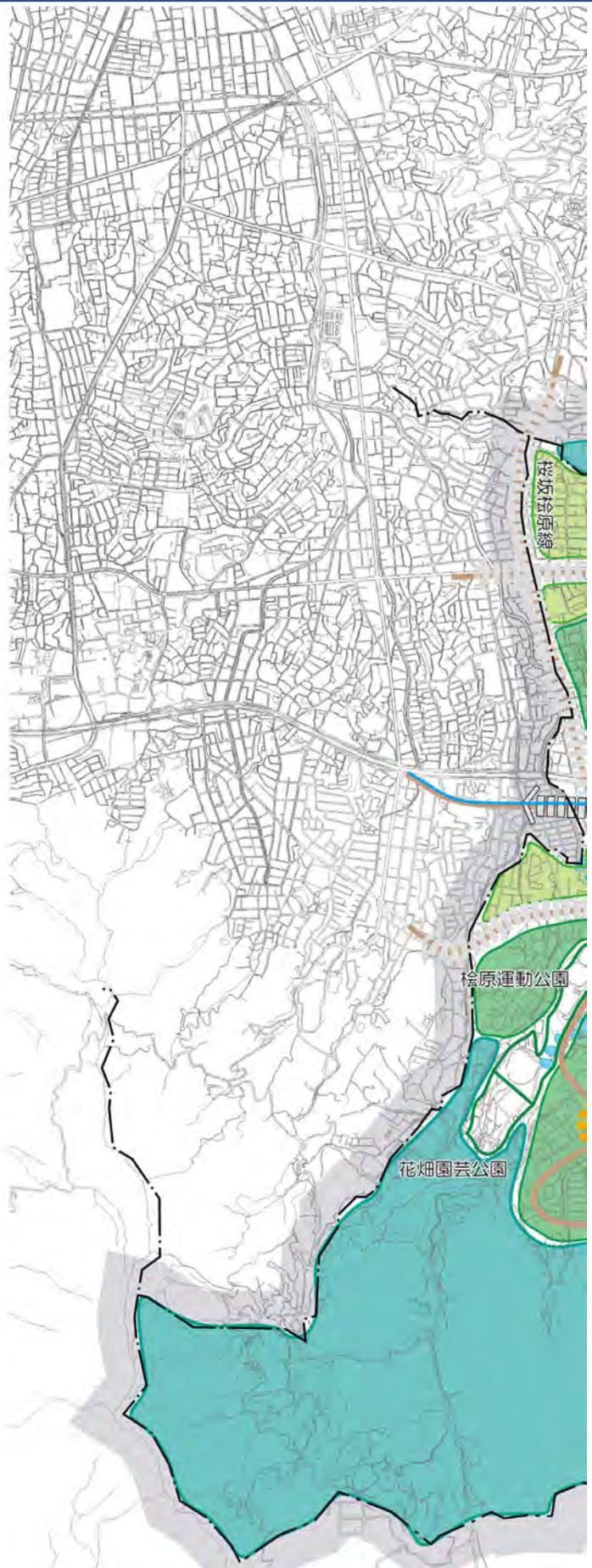
※「みどりの輪・みどりの帯(森の緑地環・緑の腕)」の位置は、第3章全体構想「みどりづくりの基本的な方針(みどりの将来像図)」参照。

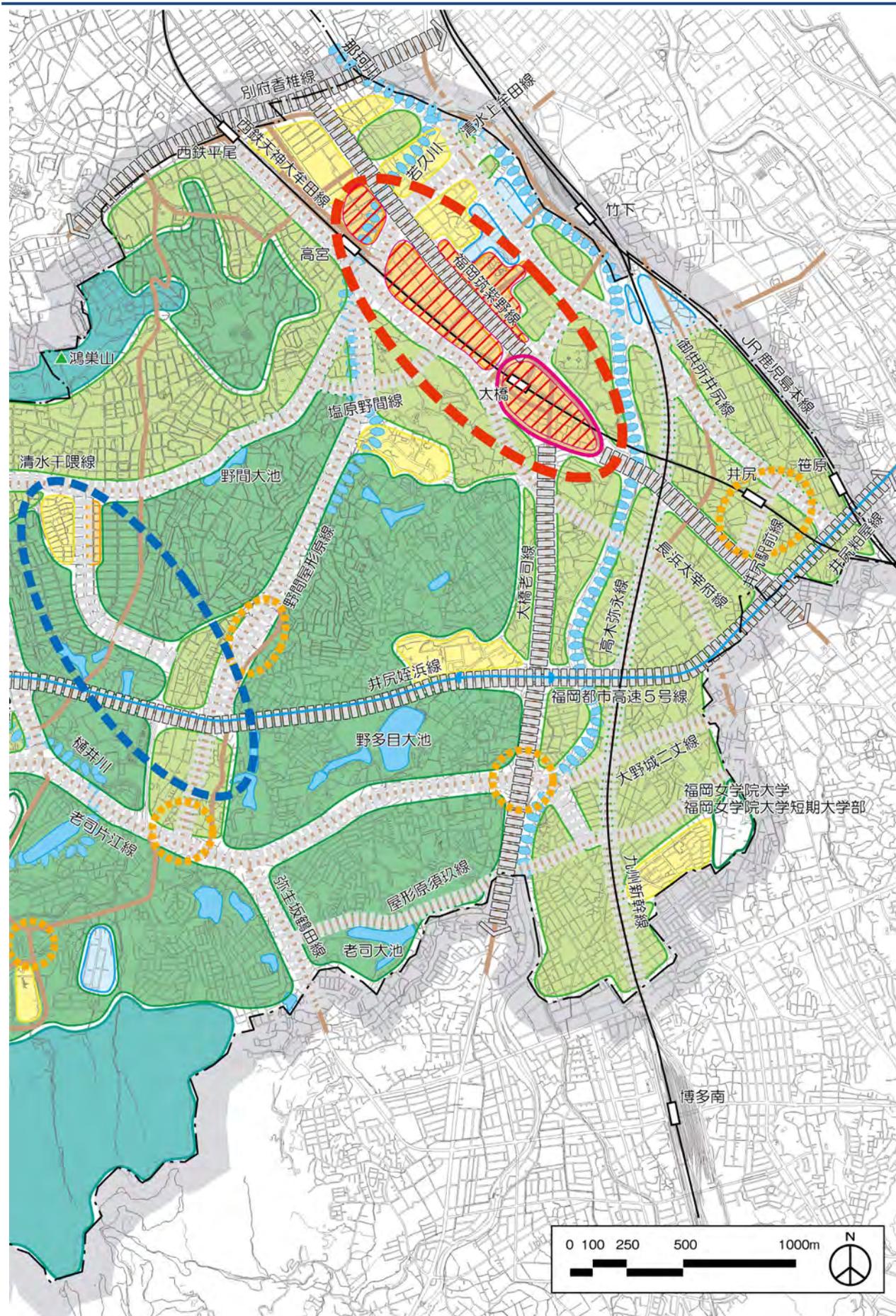
<土地利用などの現況から市街地を類型化したエリア>

ゾーン	現況	まちづくりの主な視点
複合市街地ゾーン 	住宅を中心に商業施設・業務施設が立地する市街地	○良好な居住環境の形成 ○居住環境と調和した商業・業務機能の誘導 ○安全・安心な交通環境づくり ○緑化の推進
中高層住宅ゾーン 	大規模な住宅団地などの中層住宅や高層住宅が立地する住宅地	○中高層住宅地としての良好な居住環境の形成 ○生活利便性の確保 ○安全・安心な交通環境づくり ○緑化の推進 ○住宅の老朽化への対応
低中層住宅ゾーン 	戸建住宅などの低層住宅が大部分を占めるが、一部中層住宅などが立地する住宅地	○低中層住宅としての良好な居住環境の形成 ○生活利便性の確保 ○安全・安心な交通環境づくり ○緑化の推進 ○住宅の老朽化への対応
低層住宅ゾーン 	主として戸建住宅などの低層住宅が立地する住宅地	○低層住宅地としての良好な居住環境の形成 ○生活利便性の確保 ○安全・安心な交通環境づくり ○緑化の推進 ○住宅の老朽化への対応
住工複合ゾーン 	工場や倉庫、事務所などの工業系の施設と住宅が立地するまち	○住宅の多い地区での良好な市街地環境の保全・形成 ○生活利便性の確保 ○安全・安心な交通環境づくり ○敷地内緑化などによる緩衝機能の確保
山地・丘陵地 	油山や鴻巣山などの豊かな自然環境を有する森林空間	○森林などの保全・活用と管理活動の充実 ○無秩序な開発の抑制

将来像図

- [凡 例]
-  都市計画道路等
 -  自動車専用道路
 -  鉄 道
 -  大規模施設・大規模公園
 -  区界
 - 拠点など ●
 -  南部広域拠点
 -  広域拠点核
 -  広域拠点核連携ゾーン
 -  地域拠点
 -  生活商業地
 -  都市軸
 -  沿道軸
 - 環境資源などを保全・活用するエリア ●
 -  河川緑地軸
 - 土地利用などの現況から
市街地を類型化したエリア ●
 -  複合市街地ゾーン
 -  中高層住宅ゾーン
 -  低中層住宅ゾーン
 -  低層住宅ゾーン
 -  住工複合ゾーン
 -  山地・丘陵地





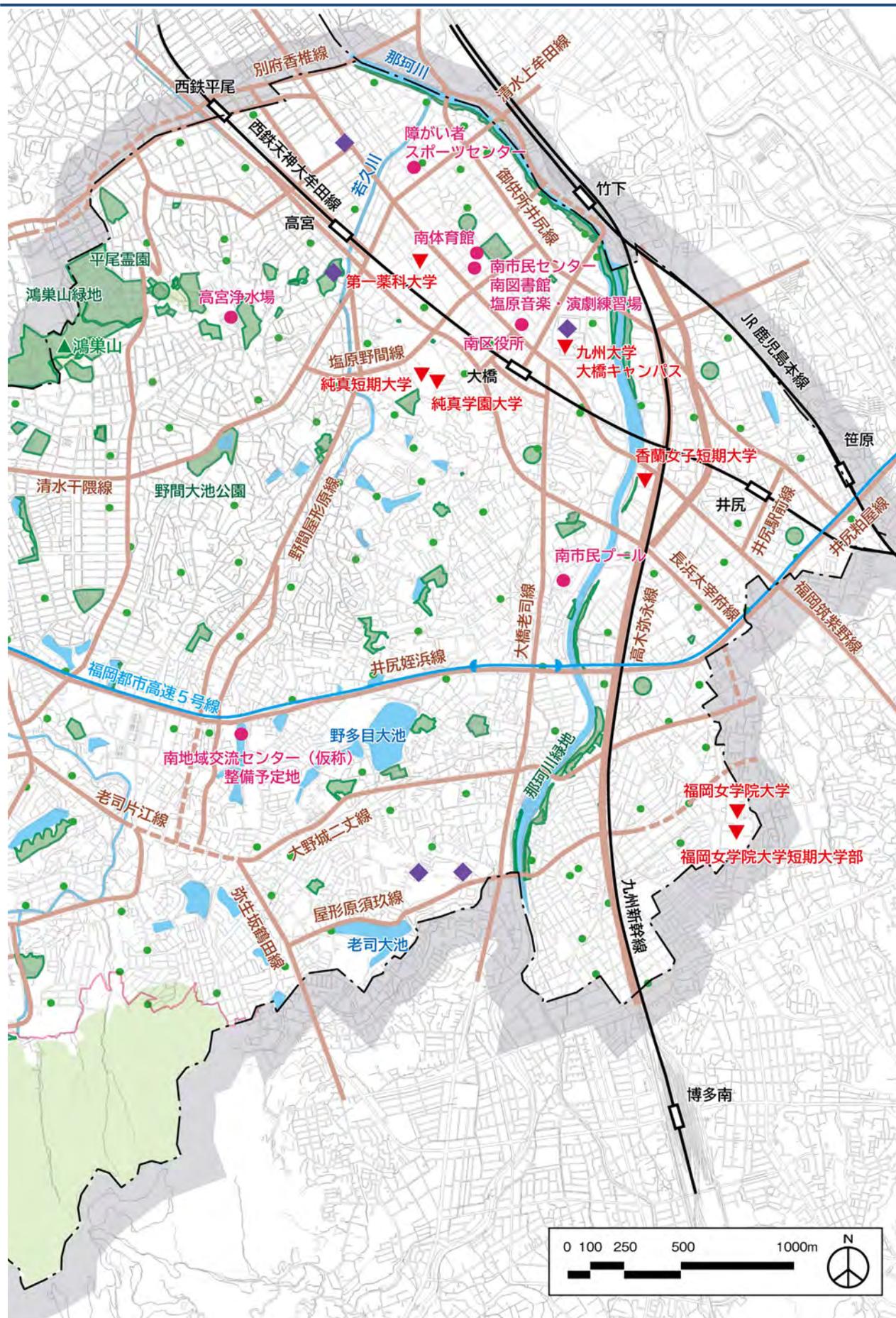
現況と課題

[凡 例]

- | | |
|--|--|
|  都市計画道路等（整備済・概成） |  農用地区域 |
|  都市計画道路等（未整備・整備中） |  標高80m以上 |
|  自動車専用道路 |  市街化区域および市街化調整区域界 |
|  鉄道 |  区界 |
|  主な公園・緑地 | |
|  主な公共施設 | |
|  大学 | |
|  文化財・寺社 | |

- 大橋駅から高宮駅の周辺には、商業施設や区役所などの公共施設が立地し、バスの乗り継ぎも多く、各種交通機関の結節点となっており、南部広域拠点を形成しています。ここから、区の西部・南部地域へ道路交通網が広がり、外環状道路が東西をつないでいます。
- 丘陵地などを開発し、まちが発展してきたため、坂が多い特徴があります。昼間人口に比べて夜間人口が多い「くらしのまち」であり、縁豊かで閑静な戸建住宅地や大規模団地などが南区全域に広がっています。住宅ニーズの多様化などに対応しながら、老朽化した大規模団地の建替えが進んでいます。
- 南西にそびえる油山では豊かな自然環境を生かした油山牧場・市民の森がリニューアルし、南北に流れる那珂川の水辺環境整備も進んでいます。この他、鴻巣山やため池など、住宅地の近くに、住民が日常的に触れ合える魅力的な自然環境を有しています。
- 区内及び近接地に特色ある大学・短大などが立地しており、外国人留学生も多く生活しています。
- 地域と行政の共創によるまちづくりが進んでおり、引き続き、地域活動の新たな担い手の発掘・育成や、大学や企業などの資源を生かした取組みを充実していく必要があります。
- 幹線道路ネットワークの形成、交差点の改良などにより、車両や歩行者が円滑に通行できる環境整備が進んでいます。一方、生活交通の確保や道路の混雑緩和、誰もが安心して移動できる歩行空間づくりなどに引き続き取り組んでいく必要があります。







城南区のまちづくり

まちづくりの方向性

- 鳥飼・別府では、六本松とともに、日常生活に必要な商業機能などの諸機能の集積を生かした拠点の形成を図ります。
- 地域の実情に応じた生活交通の確保、公共交通や道路のバリアフリー化の推進など、すべての人にやさしい安全・安心な交通環境づくりなどに取り組めます。
- 油山などの山地や樋井川、ため池などの水辺では、豊かな自然環境を保全するとともに、市民が身近な自然に親しみ、ふれあい、憩える場として活用を図ります。
- 住宅地では、地域特性に応じたみどり豊かで良好な住環境や魅力的な景観づくりに取り組み、快適で心豊かに住み続けられる日常生活圏の形成を図ります。
- 樋井川などにおいて浸水対策を進めるとともに、油山と近接している地域では、土砂災害対策を進めるなど、安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組めます。
- 区内に立地する福岡大学、中村学園大学の二つの大学の知的資源や人材を生かし、誰もが生きがいを持って心豊かに暮らせるまちづくりを推進するとともに、学生の柔軟で新鮮な発想を生かし、社会課題の解決や地域コミュニティの活性化を図り、創造的で活力のあるまちづくりを進めます。



城南学園通り



油山(片江展望台)

将来像とまちづくりの視点

全体構想における「将来の都市構造」をもとに、区内の各地域の特性に応じて、拠点・ゾーン・軸に分類し、まちの将来像やまちづくりの主な視点などについて、以下のとおり整理します。

<拠点など>

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点
地域拠点 	日常生活に必要な商業機能や市民サービス機能などの諸機能が集積した地域の拠点	(鳥飼・別府) ○地下鉄七隈線を生かしたまちづくり ○日常生活に必要な商業機能などの誘導 ○交通結節機能の充実・強化
生活商業地 	近隣住民が日用品の買い物をする店舗などが集積する賑わいのある便利なまち	○日常生活に必要な商業機能などの誘導 ○商店街の活性化 ○安全・安心な交通環境づくり
都市軸 	福岡市の骨格となる重要な交通ネットワークを受け持つ道路の沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	○沿道の有効利用 ○後背地などの周辺環境への配慮 ○交通ネットワークの充実・強化 ○連続性のある良好な街並みの形成
沿道軸 	幹線道路沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	

<環境資源などを保全・活用するエリア>

ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点
みどりの輪・みどりの帯 (森の緑地環・緑の腕)	都市の環境保全と福岡らしい風景を形成するとともに、市民の憩いの場となる森林、丘陵地	○油山などの豊かな自然の活用 ○生物多様性の保全・回復・創出
河川緑地軸 	樋井川やため池など、都市に美しい景観と身近な潤いを創出するとともに、市民の散策・憩いの場となる水辺空間	○河川沿いの緑化など美しい都市景観の形成 ○親水性の向上 ○生物多様性の保全・回復・創出 ○安全で快適な都市基盤の整備

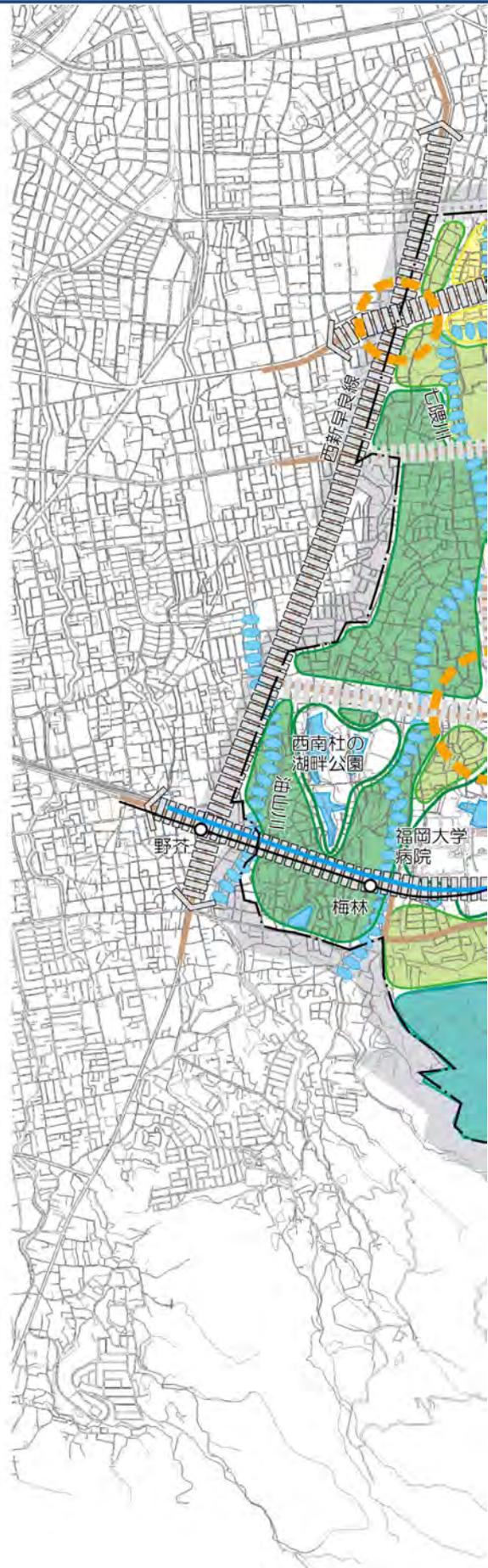
※「みどりの輪・みどりの帯(森の緑地環・緑の腕)」の位置・範囲は、第3章全体構想「みどりづくりの基本的な方針(みどりの将来像図)」参照。

<土地利用などの現況から市街地を類型化したエリア>

ゾーン	現況	まちづくりの主な視点
複合市街地ゾーン 	住宅を中心に商業施設・業務施設が立地する市街地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 良好な居住環境の形成 ○ 居住環境と調和した商業・業務機能の誘導 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進
中高層住宅ゾーン 	大規模な住宅団地などの中層住宅や高層住宅が立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中高層住宅地としての良好な居住環境の形成 ○ 生活利便性の確保 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進 ○ 住宅の老朽化への対応
低中層住宅ゾーン 	戸建住宅などの低層住宅が大部分を占めるが、一部中層住宅などが立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低中層住宅としての良好な居住環境の形成 ○ 生活利便性の確保 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進 ○ 住宅の老朽化への対応
低層住宅ゾーン 	主として戸建住宅などの低層住宅が立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低層住宅地としての良好な居住環境の形成 ○ 生活利便性の確保 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進 ○ 住宅の老朽化への対応
山地・丘陵地 	油山などの豊かな自然環境を有する森林空間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林などの保全・活用と管理活動の充実 ○ 無秩序な開発の抑制

将来像図

- [凡例]
-  都市計画道路等
 -  自動車専用道路
 -  地下鉄
 -  大規模施設・大規模公園
 -  区界
- 拠点等 ●
-  地域拠点
 -  生活商業地
 -  都市軸
 -  沿道軸
- 環境資源などを保全・活用するエリア ●
-  河川緑地軸
- 土地利用などの現況から
市街地を類型化したエリア ●
-  複合市街地ゾーン
 -  中高層住宅ゾーン
 -  低中層住宅ゾーン
 -  低層住宅ゾーン
 -  山地・丘陵地





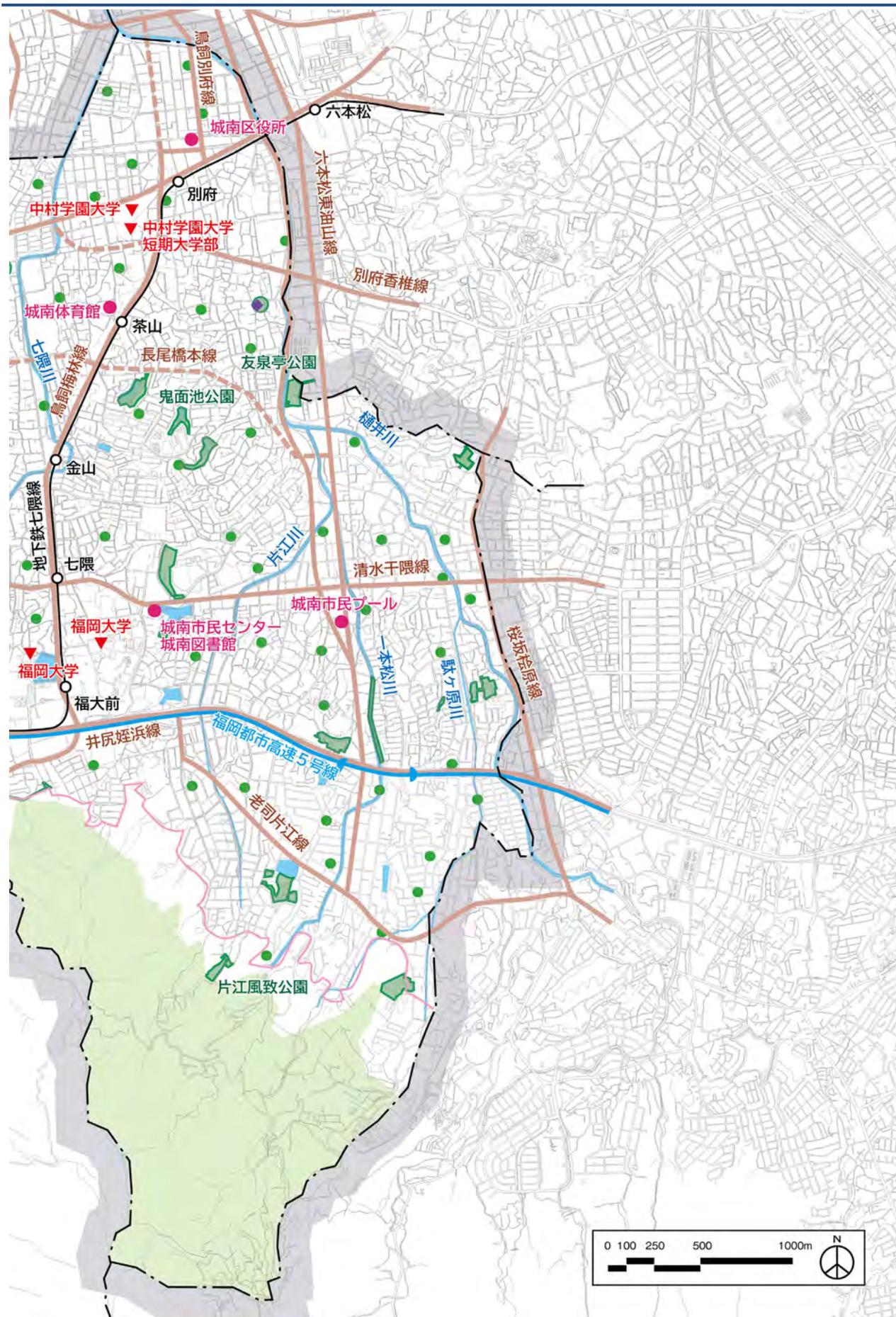
現況と課題

[凡 例]

- | | |
|--|--|
|  都市計画道路等（整備済・概成） |  標高80m以上 |
|  都市計画道路等（未整備・整備中） |  市街化区域および市街化調整区域界 |
|  自動車専用道路 |  区界 |
|  地下鉄 | |
|  主な公園・緑地 | |
|  主な公共施設 | |
|  大学 | |
|  文化財・寺社 | |

- 別府団地や金山団地などの大規模団地をはじめ住宅地が多く、商店街や店舗などが幹線道路沿いに立地しており、日常生活における買い物の利便性が高くなっています。
- 区内を縦貫する地下鉄七隈線の博多駅延伸や、東西に横断する外環状道路、都市高速道路5号線などの整備により、通勤、通学などの交通利便性が向上しています。
- 北部では、中高層集合住宅やワンルームマンションの立地が進んでいます。また、行政サービスや商業などの機能と文化・教育施設が集積しています。
- 南部には油山や樋井川、多くのため池など、豊かな自然環境が生活の身近なところにあり、友泉亭公園や梅林古墳など、郷土をしのぶ歴史的資源も残っています。
- 福岡大学、中村学園大学の二つの大学が有する人材や施設、技術力は大きな資源となっており、多様な主体がさらに連携を深め、地域課題の解決や地域コミュニティの活性化につなげていくことが期待されています。
- 高齢化率が7区で最も高く、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、お互いに見守り支え合う地域づくりが急務となっています。
- 自然災害が激甚化・頻発化する中で、自主防災組織を中心とした共助の重要性が高まっており、地域防災力を強化する必要があります。油山と近接している地域では、豪雨による土砂流出への対策も求められています。また、狭あい道路が多く、生活道路の環境改善や交通安全対策を進めていく必要があります。







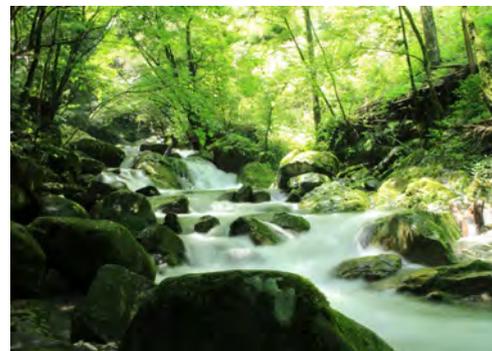
早良区のまちづくり

まちづくりの方向性

- 西新・藤崎では、シーサイドももちとともに、商業・行政機能の集積や交通結節機能の高さを生かした福岡市西部の拠点の形成を図ります。また、野芥では、日常生活に必要な商業機能などの諸機能の集積や地下鉄七隈線や外環状道路を生かした拠点の形成を図ります。
- シーサイドももちでは、情報関連産業の集積拠点の形成や、文化・エンターテインメントなどの既存資源を生かした観光・MICE の拠点の形成を図ります。
- 市街化調整区域では、自然環境や農地等の保全に努めるとともに、地域コミュニティの維持・活性化に向けた定住化の促進、観光振興等による地域活性化などに取り組みます。
- 地域の実情に応じた生活交通の確保、公共交通や道路のバリアフリー化の推進など、すべての人にやさしい安全・安心な交通環境づくりなどに取り組みます。
- 脊振山系や室見川などでは、豊かな自然環境を保全するとともに、市民が身近な自然に親しみ、ふれあい、憩える場として活用を図ります。
- 住宅地では、地域特性に応じたみどり豊かで良好な住環境や魅力的な景観づくりに取り組み、快適で心豊かに住み続けられる日常生活圏の形成を図ります。
- 室見川などにおいて浸水対策を進めるなど、安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組みます。



西新



室見川上流域(野河内溪谷)

将来像とまちづくりの視点

全体構想における「将来の都市構造」をもとに、区内の各地域の特性に応じて、拠点・ゾーン・軸に分類し、まちの将来像やまちづくりの主な視点などについて、以下のとおり整理します。

<拠点など>

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点	
西部広域拠点 (西新・藤崎・シーサイドももち) 	西新・藤崎・シーサイドももちを核として、交通結節機能の高さを生かし、商業・業務機能や市民サービス機能などの諸機能が集積した福岡市西部の拠点	商業核 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商業・業務機能などの誘導 ○ 商店街の活性化 ○ 交通結節機能の充実・強化 ○ シーサイドももち地区との回遊性の向上 ○ 連続性のある街並みや緑化などによる都市景観の形成
		行政核 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行政サービスの中心地としての機能充実・強化や多様な施設間の連携 ○ 商業・業務機能などの誘導 ○ 商店街の活性化 ○ 交通結節機能の充実・強化 ○ シーサイドももち地区との回遊性の向上 ○ 連続性のある街並みや緑化などによる都市景観の形成
		業務核 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 良好な業務環境の維持・向上 ○ 情報関連産業などの業務機能などの誘導 ○ 西新・藤崎地区との回遊性の向上 ○ 地区全体のみどりのネットワークの形成
地域拠点 	日常生活に必要な商業機能や市民サービス機能などの諸機能が集積した地域の拠点	(野芥) <ul style="list-style-type: none"> ○ 地下鉄七隈線を生かしたまちづくり ○ 日常生活に必要な商業機能などの誘導 ○ 商店街の活性化 ○ 交通結節機能の充実・強化 	
魅力・活力創造拠点 	(シーサイドももち) 情報関連産業の集積拠点及び文化・エンターテインメントなどの既存資源を生かした観光・MICEの拠点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報関連産業機能の誘導 ○ 観光・MICEの振興 ○ 西新・藤崎地区との回遊性向上 	
生活商業地 	近隣住民が日用品の買い物をする店舗などが集積する賑わいのある便利なまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活に必要な商業機能などの誘導 ○ 安全・安心な交通環境づくり 	

<拠点など>

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点
都市軸 	福岡市の骨格となる重要な交通ネットワークを受け持つ道路の沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	<ul style="list-style-type: none"> ○沿道の有効利用 ○後背地などの周辺環境への配慮 ○交通ネットワークの充実・強化 ○連続性のある良好な街並みの形成
沿道軸 	幹線道路沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	

<環境資源などを保全・活用するエリア>

ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点
みどりの輪・みどりの帯 (森の緑地環・緑の腕)	都市の環境保全と福岡らしい風景を形成するとともに、市民の憩いの場となる森林、丘陵地	<ul style="list-style-type: none"> ○脊振山系や油山などの豊かな自然の活用 ○生物多様性の保全・回復・創出
河川緑地軸 	室見川など、都市に美しい景観と身近な潤いを創出するとともに、市民の散策・憩いの場となる水辺空間	<ul style="list-style-type: none"> ○河川沿いの緑化など美しい都市景観の形成 ○親水性の向上 ○生物多様性の保全・回復・創出 ○安全で快適な都市基盤の整備
博多湾水際帯	連続する緑地と水際空間を形成するとともに、市民の憩いの場となる海浜公園	<ul style="list-style-type: none"> ○みどりの連続性の確保 ○生物多様性の保全・回復・創出

※「みどりの輪・みどりの帯(森の緑地環・緑の腕)」、「博多湾水際帯」の位置・範囲は、第3章全体構想「みどりづくりの基本的な方針(みどりの将来像図)」参照。

<土地利用などの現況から市街地を類型化したエリア>

ゾーン	現況	まちづくりの主な視点
複合市街地ゾーン 	住宅を中心に商業施設・業務施設が立地する市街地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 良好な居住環境の形成 ○ 居住環境と調和した商業・業務機能の誘導 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進
中高層住宅ゾーン 	大規模な住宅団地などの中層住宅や高層住宅が立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中高層住宅地としての良好な居住環境の形成 ○ 生活利便性の確保 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進 ○ 住宅の老朽化への対応
低中層住宅ゾーン 	戸建住宅などの低層住宅が大部分を占めるが、一部中層住宅などが立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低中層住宅としての良好な居住環境の形成 ○ 生活利便性の確保 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進 ○ 住宅の老朽化への対応
低層住宅ゾーン 	主として戸建住宅などの低層住宅が立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低層住宅地としての良好な居住環境の形成 ○ 生活利便性の確保 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進 ○ 住宅の老朽化への対応
農業・集落ゾーン 	市街地化調整区域で農地が広がり、集落などが分布するまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かな自然環境と農地の保全 ○ 既存集落の環境保全と定住化の促進 ○ 農林業などの地域産業振興 ○ 豊かな自然環境などを生かした地域の魅力向上 ○ 安全・安心な交通環境づくり
山地・丘陵地 	脊振山系の豊かな自然環境を有する森林空間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林などの保全・活用と管理活動の充実 ○ 無秩序な開発の抑制

将来像図

[凡 例]

都市計画道路等

自動車専用道路

地下鉄

航路

大規模施設・大規模公園

区界

●土地利用などの現況から市街地を類型化したエリア●

複合市街地ゾーン

中高層住宅ゾーン

低中層住宅ゾーン

低層住宅ゾーン

農業・集落ゾーン

山地・丘陵地

●拠点など●

西部広域拠点

商業核（西新）

行政核（藤崎）

業務核（シーサイドもち）

地域拠点

生活商業地

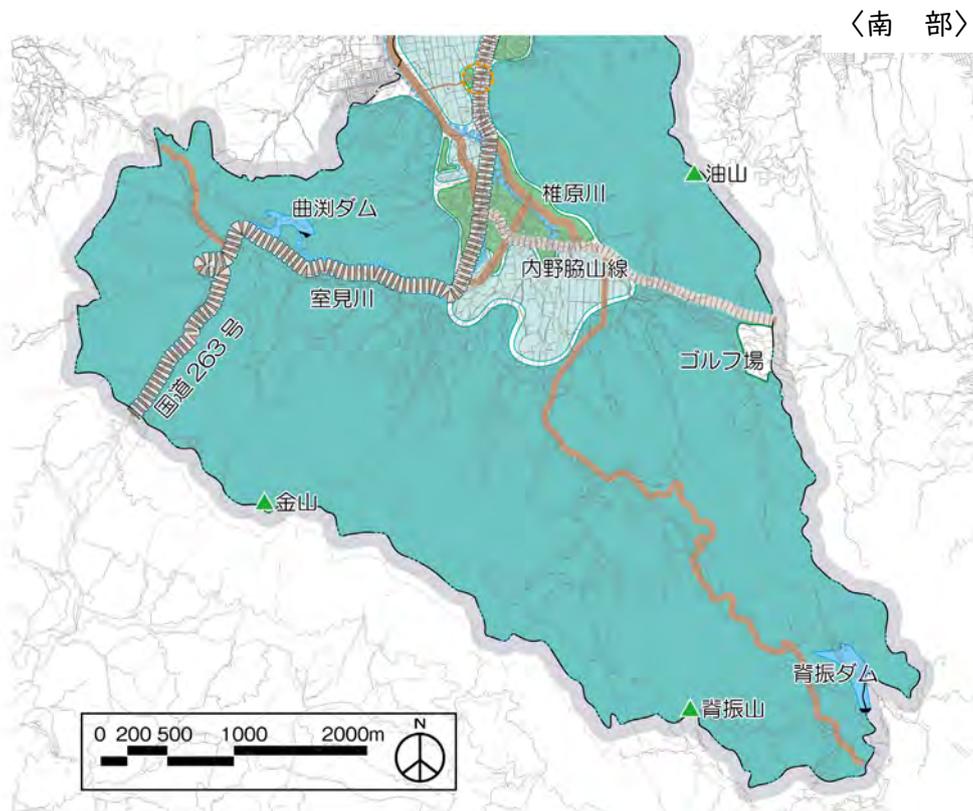
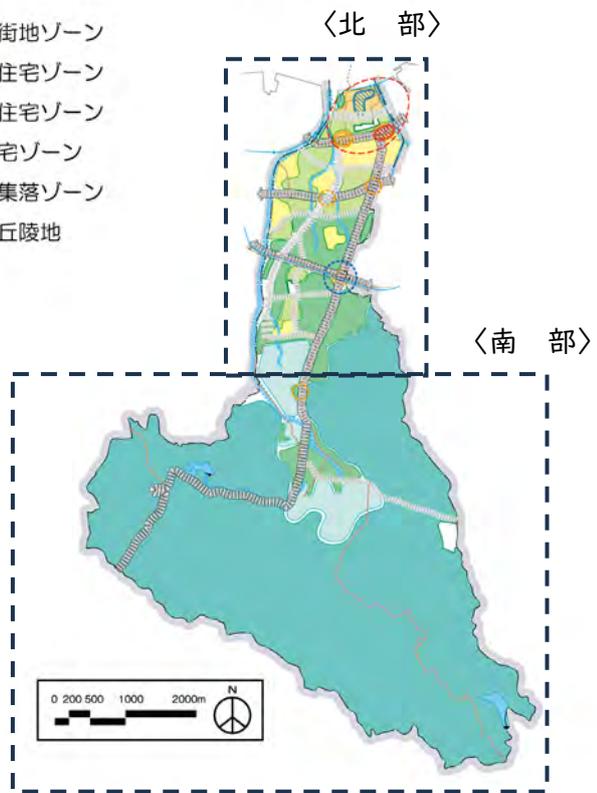
魅力・活力創造拠点

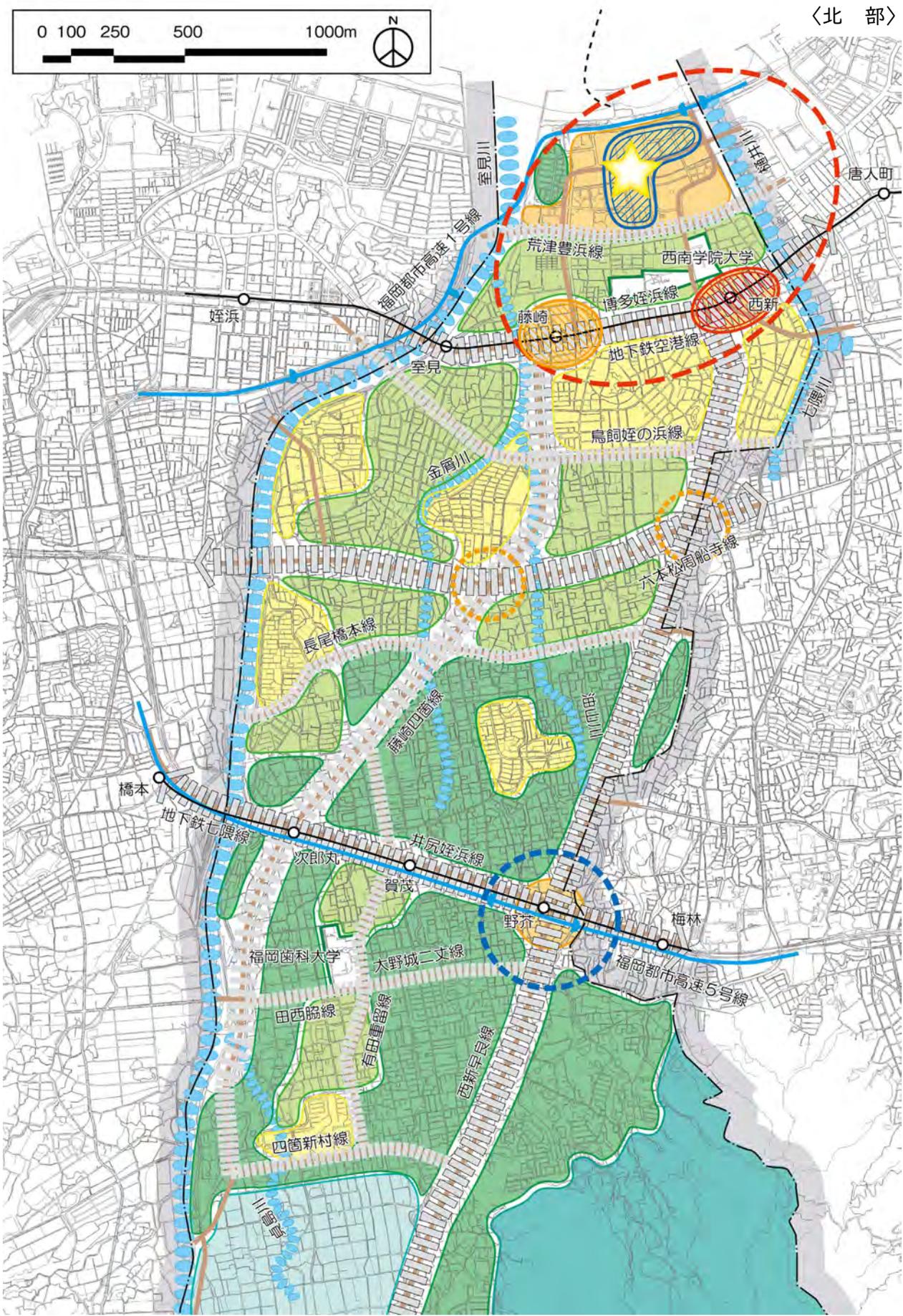
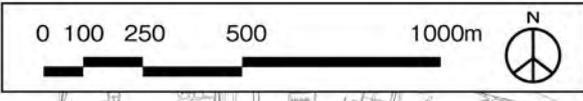
都市軸

沿道軸

●環境資源などを保全・活用するエリア●

河川緑地軸

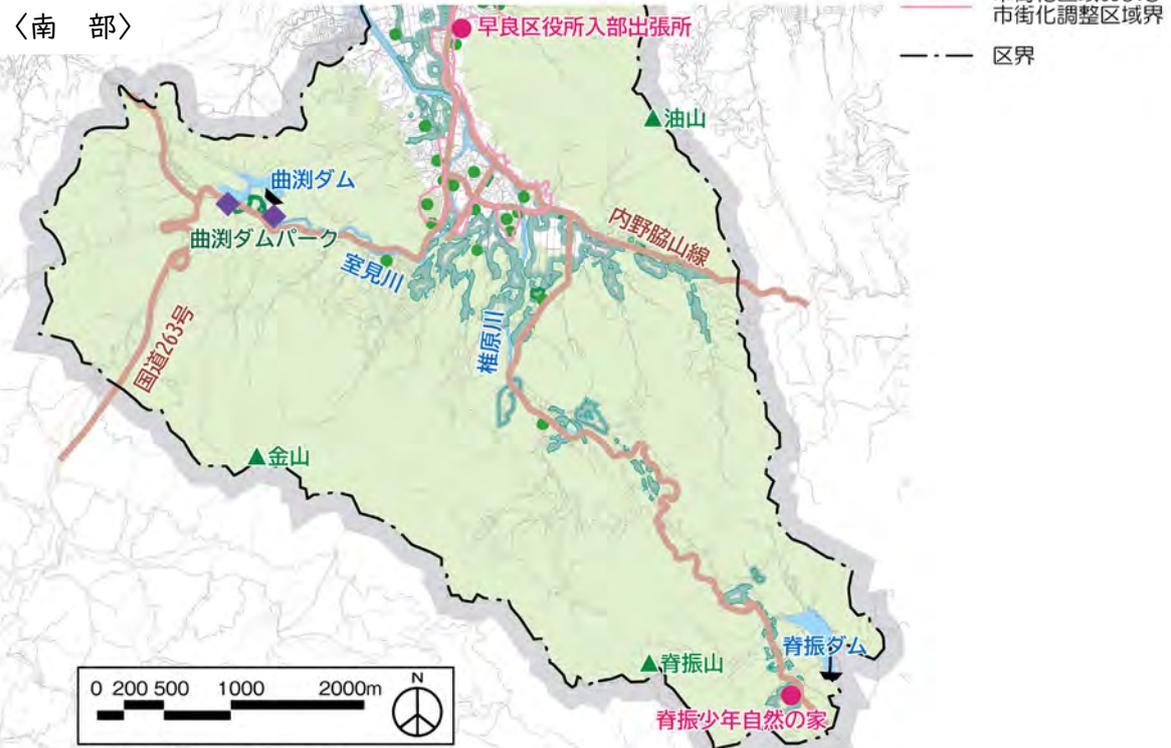
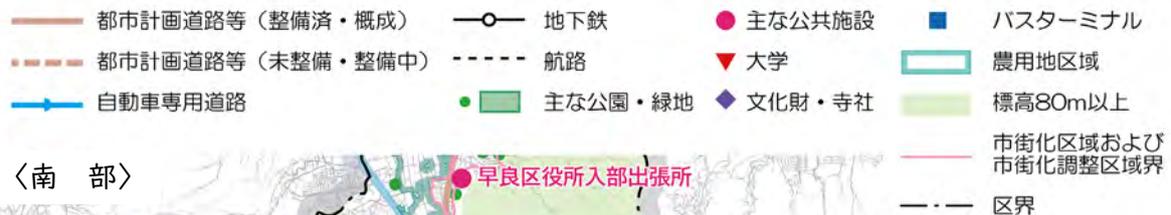




現況と課題

- 7区の中で最も広く、南北に長い地形をしており、北部は博多湾に面し、西部には市民の憩いの場となっている室見川が流れ、南部には緑豊かな脊振山系という自然環境に恵まれています。
- 北部は商業・文教・交通の拠点であり、中部は大規模な集合住宅や戸建て住宅が集積しています。また、南部は田園・森林地帯、脊振山系までが含まれる自然豊かな農業・林業・住宅地域となっており、各エリアの特性に応じたまちづくりを進めていく必要があります。
- 西新・藤崎地区では、活気あふれる商業地域として発展を遂げ、高校・大学などの教育施設のほか、区役所や市民センターなどの行政機関が集中しており、建物の建替時期等を捉え、計画的な機能更新の誘導を図るなど、市民の利便性の向上への取り組みが必要です。また、シーサイドももち地区では、福岡タワーや博物館など、文化・情報技術関連施設が集積し、西新・藤崎地区とともに、西部広域拠点を形成しています。
- 野芥や賀茂、次郎丸では、外環状道路及び都市高速道路5号線の開通、地下鉄七隈線の博多駅までの延伸開業などの都市基盤の整備により、交通・生活の利便性が向上しています。
- 原や飯倉、有田などには大規模な住宅団地があり、幹線道路の沿道には商業施設が多く立地しているため、日常生活における買い物の利便性が高くなっています。
- 南部地域は、都市と農業の距離が近い農村地域であり、地域資源を生かして、地域振興やコミュニティの活性化に取り組んでいますが、自然災害への対応や、超高齢社会への対応、住民の日常生活に必要な交通手段である公共交通の維持・確保などが課題となっています。

[凡 例]

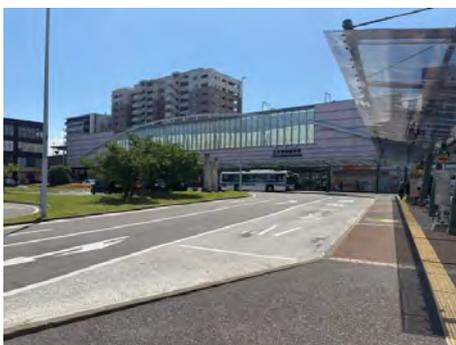




西区のまちづくり

まちづくりの方向性

- 姪浜、橋本、今宿・周船寺では、日常生活に必要な商業機能などの諸機能の集積を生かした拠点の形成を図ります。
- 九州大学伊都キャンパス及びその周辺では、九州大学学術研究都市の核として、学生や研究者などが新たな知を創造、発信する研究開発拠点や、産学官が連携した新たなビジネスやイノベーションの創出拠点の形成を図ります。
- 市街化調整区域などでは、自然環境や農地等の保全に努めるとともに、地域コミュニティの維持・活性化に向けた定住化の促進、観光振興等による地域活性化などに取り組みます。
- 地域の実情に応じた生活交通の確保、公共交通や道路のバリアフリー化の推進など、すべての人にやさしい安全・安心な交通環境づくりなどに取り組みます。
- 北崎などの自然海岸や今津干潟、飯盛山、室見川、瑞梅寺川などでは、豊かな自然環境を保全するとともに、市民が身近な自然に親しみ、ふれあい、憩える場として活用を図ります。
- 住宅地では、地域特性に応じたみどり豊かで良好な住環境や魅力的な景観づくりに取り組み、快適で心豊かに住み続けられる日常生活圏の形成を図ります。
- 瑞梅寺川などにおいて浸水対策を進めるなど、安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組みます。



九大学研都市駅周辺



北崎(二見ヶ浦周辺)

将来像とまちづくりの視点

全体構想における「将来の都市構造」をもとに、区内の各地域の特性に応じて、拠点・ゾーン・軸に分類し、まちの将来像やまちづくりの主な視点などについて、以下のとおり整理します。

<拠点など>

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点	
地域拠点 	日常生活に必要な商業機能や市民サービス機能などの諸機能が集積した地域の拠点	(姪浜) ○歴史資源を生かしたまちづくり ○日常生活に必要な商業機能などの誘導 ○商店街の活性化 ○交通結節機能の充実・強化	
		(今宿・周船寺) ○日常生活に必要な商業機能などの誘導 ○商店街の活性化 ○交通結節機能の充実・強化 ○九州大学伊都キャンパス及びその周辺との連携	
		(橋本) ○地下鉄七隈線を生かしたまちづくり ○日常生活に必要な商業機能などの誘導 ○駅周辺のゆとりあるオープンスペースの確保 ○交通結節機能の充実・強化	
魅力・活力創造拠点 	(九州大学伊都キャンパス及びその周辺) 九州大学学術研究都市の核として、学生や研究者などが新たな知を創造、発信する研究開発拠点及び産学官が連携した新たなビジネスやイノベーションの創出拠点	九州大学伊都キャンパス 	○研究開発機能、産学連携機能の誘導 ○学生、研究者などを対象とした居住、生活サポート機能の整備 ○地域の個性を生かした景観の形成 ○今宿・周船寺地区との連携
		九州大学伊都キャンパス周辺ゾーン 	
生活商業地 	近隣住民が日用品の買い物をする店舗などが集積する賑わいのある便利なまち	○日常生活に必要な商業機能などの誘導 ○安全・安心な交通環境づくり	
都市軸 	福岡市の骨格となる重要な交通ネットワークを受け持つ道路の沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	○沿道の有効利用 ○後背地などの周辺環境への配慮 ○交通ネットワークの充実・強化	
沿道軸 	幹線道路沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	○連続性のある良好な街並みの形成	

<将来のまちづくりを検討するエリア>

ゾーン	まちの将来像	まちづくりの主な視点
拠点等周辺ゾーン 	周辺環境と調和した計画的なまちづくりを誘導するまち	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な土地利用転換の誘導と集団的な農地の保全・活用 ○地域拠点のまちづくりとの連携 ○周辺環境との調和

<環境資源などを保全・活用するエリア>

ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点
歴史景観拠点ゾーン 	町家などの歴史資源を生かした景観が保全・形成されている旧唐津街道を中心とした地区	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史資源を生かした街並みの形成
みどりの輪・みどりの帯 (森の緑地環・緑の腕)	都市の環境保全と福岡らしい風景を形成するとともに、市民の憩いの場となる森林、丘陵地	<ul style="list-style-type: none"> ○飯盛山や叶岳の豊かな自然の活用 ○生物多様性の保全・回復・創出
河川緑地軸 	室見川、瑞梅寺川など、都市に美しい景観と身近な潤いを創出するとともに、市民の散策・憩いの場となる水辺空間	<ul style="list-style-type: none"> ○河川沿いの緑化など美しい都市景観の形成 ○親水性の向上 ○生物多様性の保全・回復・創出 ○安全で快適な都市基盤の整備
博多湾水際帯	連続する緑地と水際空間を形成するとともに、市民の憩いの場となる自然海岸や干潟、海浜公園	<ul style="list-style-type: none"> ○みどりの連続性の確保 ○美しい海岸線を生かした地域の観光振興と活性化 ○生物多様性の保全・回復・創出

※「みどりの輪・みどりの帯(森の緑地環・緑の腕)」、「博多湾水際帯」の位置・範囲は、第3章全体構想「みどりづくりの基本的な方針(みどりの将来像図)」参照。

<土地利用などの現況から市街地を類型化したエリア>

ゾーン	現況	まちづくりの主な視点
複合市街地ゾーン 	住宅を中心に商業施設・業務施設が立地する市街地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 良好な居住環境の形成 ○ 居住環境と調和した商業・業務機能の誘導 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進
中高層住宅ゾーン 	大規模な住宅団地などの中層住宅や高層住宅が立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中高層住宅地としての良好な居住環境の形成 ○ 生活利便性の確保 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進 ○ 住宅の老朽化への対応
低中層住宅ゾーン 	戸建住宅などの低層住宅が大部分を占めるが、一部中層住宅などが立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低中層住宅としての良好な居住環境の形成 ○ 生活利便性の確保 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進 ○ 住宅の老朽化への対応
低層住宅ゾーン 	主として戸建住宅などの低層住宅が立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低層住宅地としての良好な居住環境の形成 ○ 生活利便性の確保 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 緑化の推進 ○ 住宅の老朽化への対応
住工複合ゾーン 	工場や倉庫、事務所などの工業系の施設と住宅が立地するまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住宅の多い地区での良好な市街地環境の保全・形成 ○ 生活利便性の確保 ○ 安全・安心な交通環境づくり ○ 敷地内緑化などによる緩衝機能の確保
農業・集落ゾーン 	市街地化調整区域で農地が広がり、集落などが分布するまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かな自然環境と農地の保全 ○ 既存集落の環境保全と定住化の促進 ○ 農林水産業などの地域産業振興 ○ 豊かな自然環境などを生かした地域の魅力向上 ○ 安全・安心な交通環境づくり
山地・丘陵地 	脊振山系から糸島半島に至る豊かな自然環境を有する森林空間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林などの保全・活用と管理活動の充実 ○ 無秩序な開発の抑制
水辺 	自然海岸や干潟などの水辺空間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然海岸、今津干潟の保全・活用 ○ 無秩序な開発の抑制
都市型ウォーターフロントゾーン 	市民が海とふれあい、楽しめる都市型ウォーターフロント	<ul style="list-style-type: none"> ○ マリーナと一体となった拠点づくり ○ 海の魅力を生かしたまちづくり

将来像図

[凡例]

-  都市計画道路等
-  自動車専用道路
-  地下鉄
-  鉄道
-  航路
-  大規模施設・大規模公園
-  区界

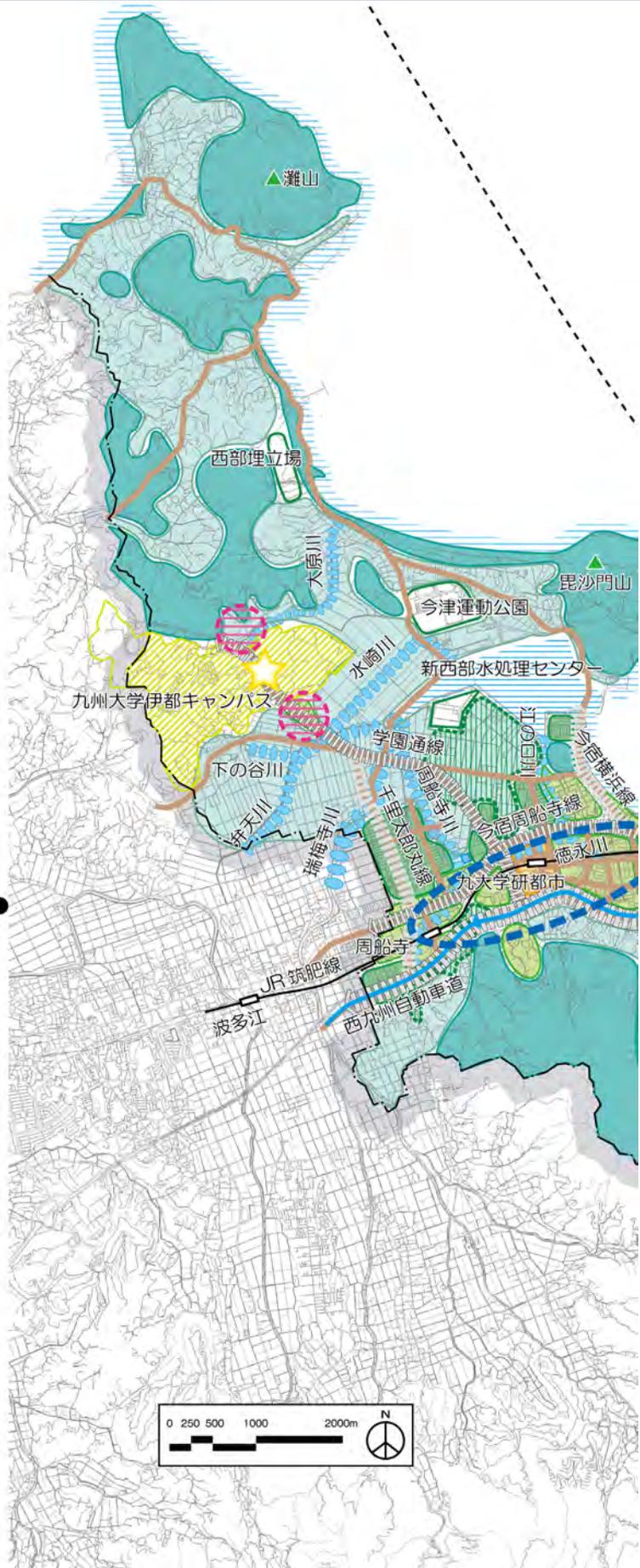
- 拠点など ●
-  地域拠点
-  生活商業地
-  魅力・活力創造拠点
-  九州大学伊都キャンパス
-  九州大学伊都キャンパス周辺ゾーン

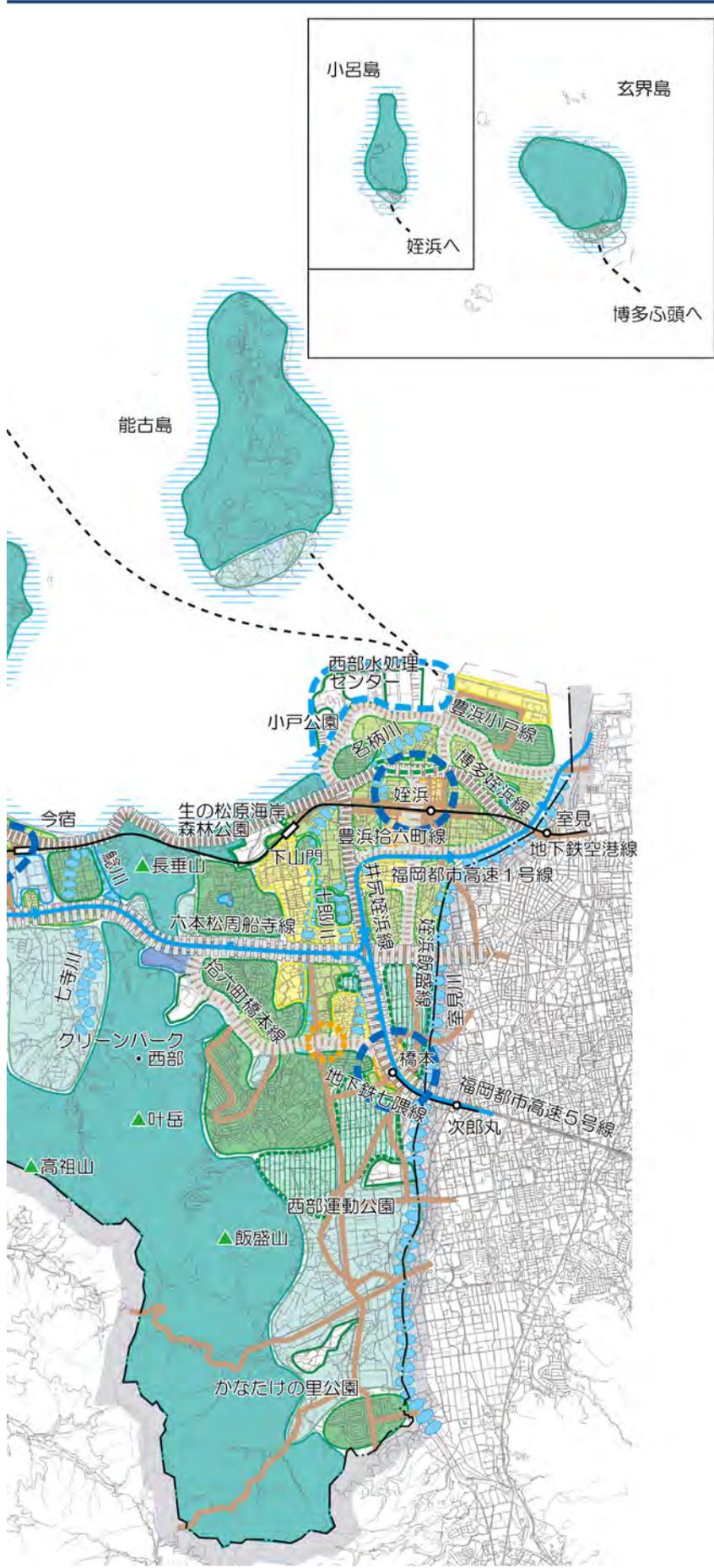
-  都市軸
-  沿道軸

- 将来のまちづくりを検討するエリア ●
-  拠点等周辺ゾーン

- 環境資源などを保全・活用するエリア ●
-  歴史景観拠点ゾーン
-  河川緑地軸

- 土地利用などの現況から市街地を類型化したエリア ●
-  複合市街地ゾーン
-  中高層住宅ゾーン
-  低中層住宅ゾーン
-  低層住宅ゾーン
-  住工複合ゾーン
-  流通・工業機能ゾーン
-  農業・集落ゾーン
-  山地・丘陵地
-  水辺
-  都市型ウォーターフロントゾーン

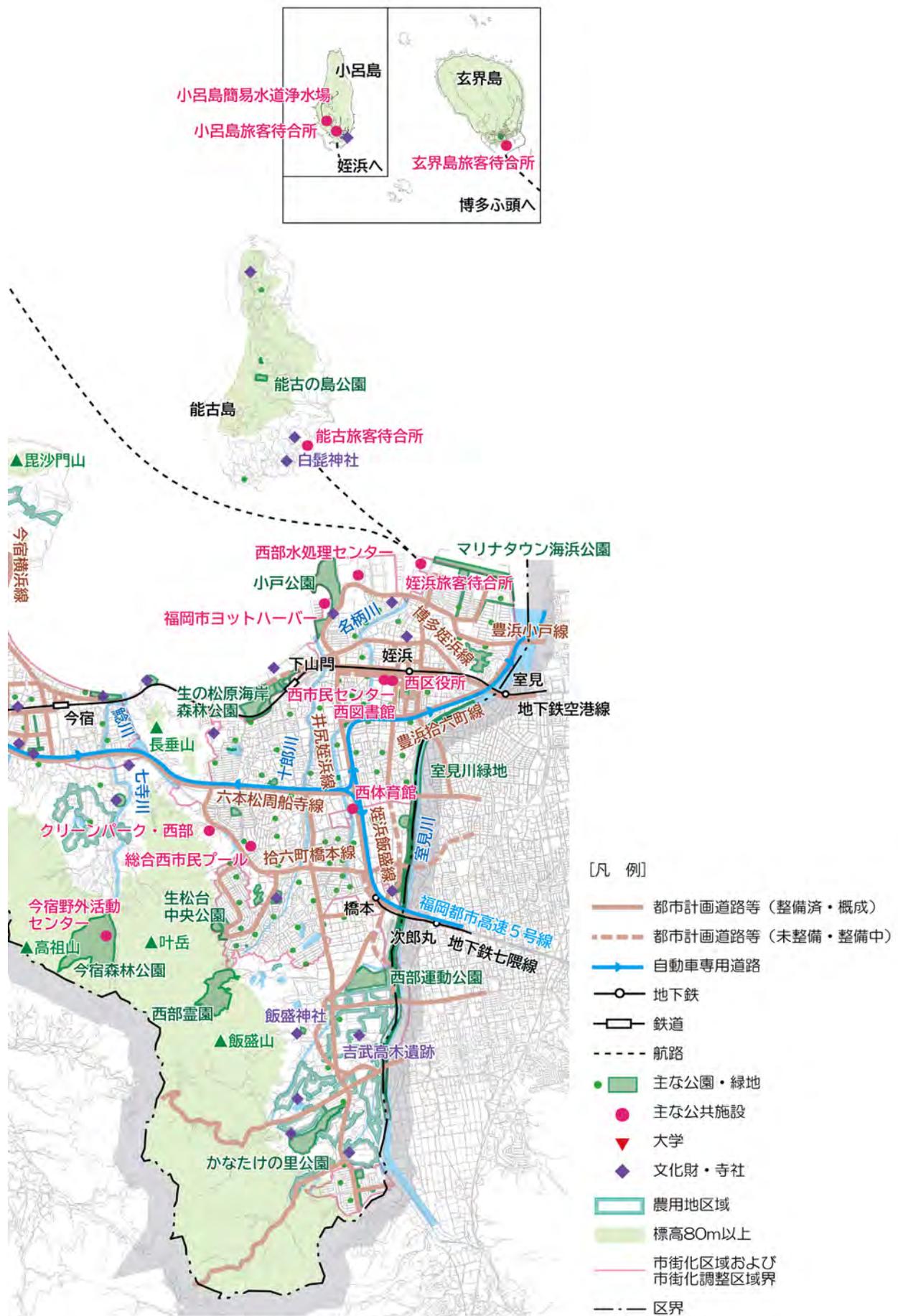




現況と課題

- 生の松原から西浦に至る美しい海岸線と、能古島、玄界島、小呂島の3つの島、脊振山系から糸島半島に至る緑の連なり、博多湾に注ぐ室見川や瑞梅寺川、今津干潟など、豊かな自然環境に恵まれています。
- 今宿野外活動センターや海づり公園など、豊かな自然環境を生かした多くの施設があります。また、糸島半島を形成する北崎、今津は、風光明媚な景観が多く、人気の観光スポットとなっています。
- 今津人形芝居や飯盛神社の流鏝馬などの民俗行事が今に受け継がれ、また、元寇防塁や吉武高木遺跡などの史跡も数多く残っています。
- 九州大学移転に伴い、JR 九大学研都市駅を中心に新しい市街地の形成が進んでいます。また、地下鉄七隈線が博多駅まで延伸され、橋本駅周辺のまちづくりが着実に進められています。
- 九州大学の知見や多彩な人材を地域のまちづくりや人材育成に生かすなど、大学と地域の連携・交流をより一層促進することが求められています。
- 土地区画整理事業に伴う人口増加地域と郊外の人口減少地域の二極化が進んでおり、人口減少地域では、コミュニティや地域産業、公共交通機関や生活利便性の維持が課題となっています。
- 離島の主産業である漁業は、地域の人口減少や高齢化などを背景とした担い手不足や漁業生産量の減少が課題となっています。また、農業は、大消費地に近く今後もさらなる発展が期待されていますが、耕作放棄地も多く、営農者を呼び込む工夫が求められています。
- 近年、自然災害が激甚化、頻発化しており、災害時の避難支援など、地域での結びつきの強い災害対策が求められています。





■地域特性に応じたきめ細かなルールづくり

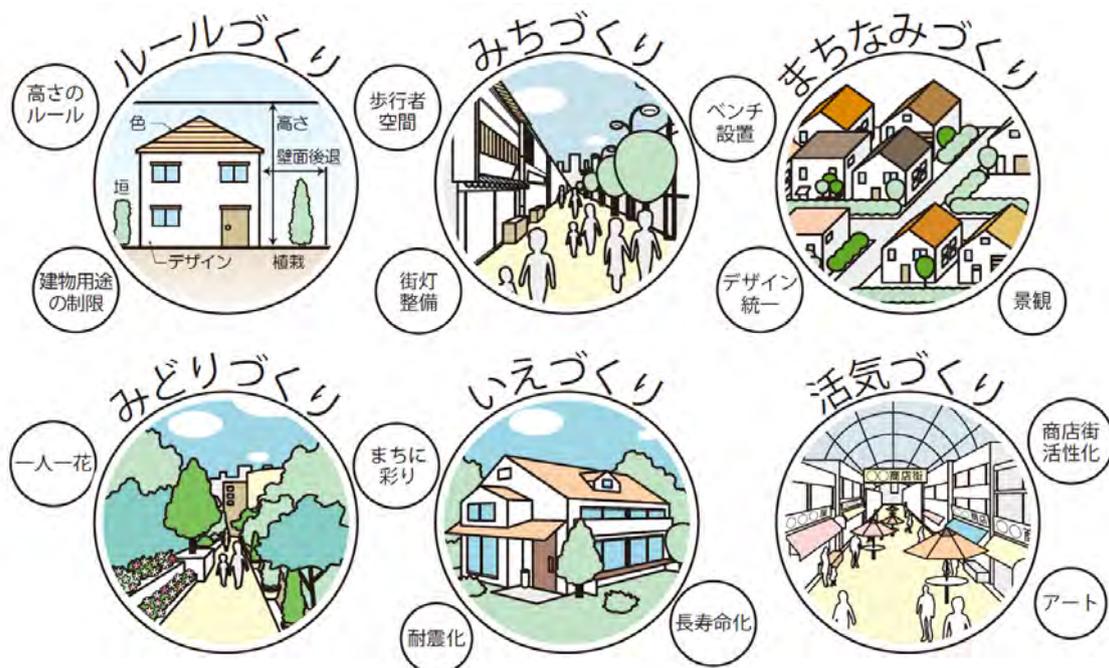
第3章「全体構想」では都市づくりの方針や将来の都市構造を示し、さらに本章において区内の各地域の特性に応じたまちの将来像やまちづくりの主な視点について整理しています。

都市計画においては、全市的な観点から、土地利用の方向性や都市の骨格となる道路・公園等を定め、都心部から市街地周辺部にかけて段階的な密度構成にすることで、メリハリのきいた、ゆとりと潤いのある市街地の形成を図っています。

一方、少子高齢化などの社会情勢の変化、ライフスタイルや価値観の多様化による市民ニーズの変化などにより、地域が抱える課題やめざす将来像なども多様化しています。また、自然や歴史、文化など、地域の特性や資源をさらに生かした魅力あるまちづくりに向け、全市的な観点からの都市づくりに加え、地域の特性やニーズに応じたきめ細かなまちづくりが求められており、行政だけではなく、地域住民や自治会、商店街、事業者など多様な主体が共働して取り組むことが重要です。

まちづくりの取組みとしては、地区計画や建築協定など様々な制度があり、建築物の用途・形態や緑の保全などに関するきめ細かなルールづくりを行うことが可能です。

引き続き、地域の主体的なまちづくりの取組みを積極的に支援していきます。

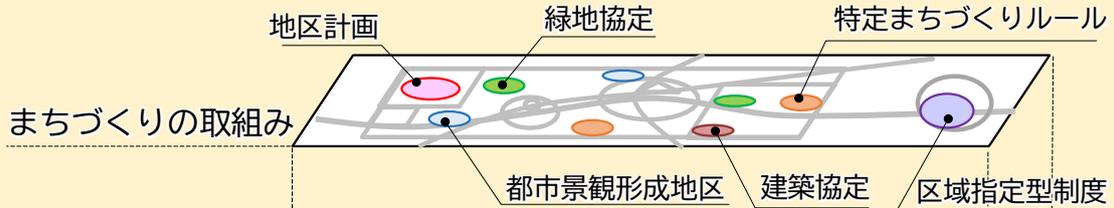


資料：地域まちづくり手引書（令和5年7月）

<まちづくりのイメージ>

■きめ細かなルールづくり

地域の資源などをさらに生かした魅力あるまちづくりに向け、地域の特性に応じたきめ細かなルールづくりが重要になります。



【例：地区計画】

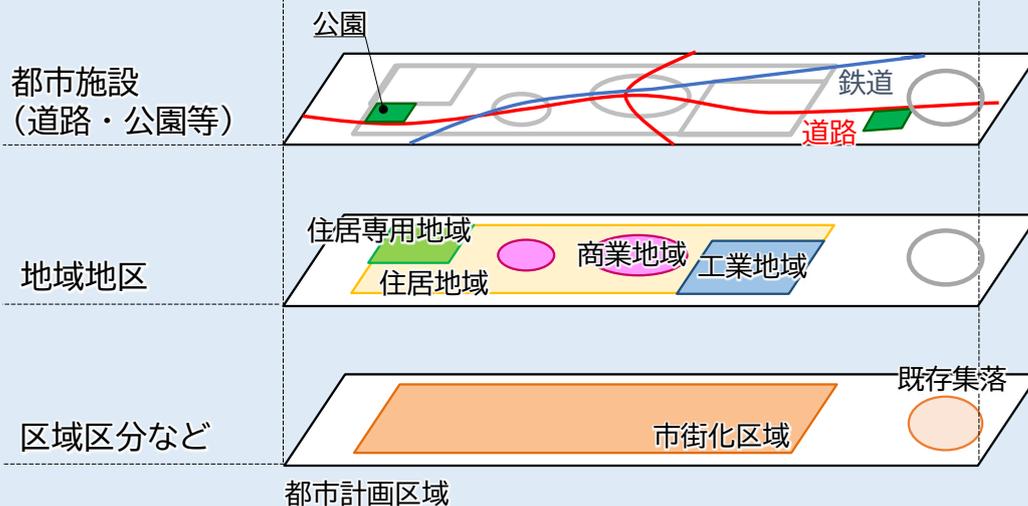
より良好な市街地環境の形成・保全のため、地区の特性に応じて、道路・広場の配置や建築物の用途・形態などについて、きめ細かく定めます。

【例：都市景観形成地区】

景観の形成を重点的に図る必要のある地域において、まちなみづくりのルールを定めます。

■全市的な観点からの都市づくり

全市的な観点から、土地利用の方向性や都市の骨格となる道路・公園等を定め、都心部から市街地周辺部にかけて段階的な密度構成にすることで、メリハリのきいた、ゆとりと潤いのある市街地の形成を図ります。



【例：用途地域】

良好な市街地環境の形成や住居、商業、工業などの適正な配置のため、建築物の用途や容積率などを定めます。

【例：都市計画道路】

都市交通の円滑化を図るとともに、都市の骨格形成や貴重な都市空間を創出するための道路です。

<まちづくりの取組み事例>

<p>拠点にふさわしい 新たな魅力づくり</p>	<p>活動例 地域住民に開かれた 緑豊かな空間や 街角広場の整備など</p>	 <p>緑とゆとりある都市空間の形成 (地区計画)</p>
<p>地区の個性を 生かした景観の 保全・創出</p>	<p>活動例 まちなみルール の策定・運用や 歴史的建築物の活用など</p>	 <p>歴史と伝統を感じられるまちなみ (都市景観形成地区)</p>
<p>良好な都市環境の 形成・保全</p>	<p>活動例 地域の特性に応じた まちづくりのルール の策定・運用など</p>	 <p>良好な住環境の形成・保全 (建築協定)</p>
<p>地域コミュニティの 維持・活性化</p>	<p>活動例 戸建住宅を中心とした 建築物の立地が可能 となる区域の指定など</p>	 <p>地域と連携した定住化の促進 (区域指定型制度)</p>
<p>農山漁村地域の 活性化</p>	<p>活動例 農林水産業や観光業など の地域産業振興に寄与 する建築物の立地など</p>	 <p>地域活性化の取組み (地域産業振興施設)</p>

<まちづくりの取組みの進め方>

「まちづくり」と聞くと、難しいイメージがあるかもしれませんが、この地域はどういった地域なのか、良いところや改善したいところは何なのかなどを改めて考えることが地域におけるまちづくりの第一歩です。

「地域まちづくり手引書」を参考に進め方や取組み方法を学ぶとともに、「出前講座」や「まちづくりアドバイザー派遣制度」など、市の支援制度も活用し、地域の課題解決、魅力向上の取組みを進めてみましょう。

まちづくりの取組みの進め方(例)

【STEP1 発意】 まちづくりのきっかけ、仲間づくり

- ・「福岡市基本計画」や「都市計画マスタープラン」などを手がかりに、身近な地域の特徴や良いところ、改善したいところを考えてみましょう。
- ・市では、進め方や制度の勉強会を行う「出前講座」、専門的なアドバイスを行う「まちづくりアドバイザー派遣制度」などで地域の活動を支援しています。

【STEP2 組織】 まちづくりに取り組む組織づくり

- ・みんなでまちの将来像や目標を話し合い、まちを更に良くしたいという熱意が高まったら、まちづくりに取り組む組織づくりを行いましょう。
- ・市による「地域まちづくり協議会」として、登録・公表いただければ、活動費の助成など市の支援制度が活用可能です。

【STEP3 計画】 まちづくりの計画・ルールなどの検討、策定

- ・ワークショップや勉強会、アンケート調査などを行い、現状・課題や将来像などを整理し、将来像の実現に向けた具体的な計画やルールなどを検討しましょう。
- ・計画やルールの案ができたなら、広く地域の意見を聴いて合意形成を図りましょう。
- ・まちづくりの計画やルールを策定する際には、活動費助成や技術的なアドバイスを行うコンサルタント派遣など市の支援制度が活用可能です。

【STEP4 実施】 まちづくりの取組みの実施

- ・地区計画や建築協定、特定まちづくりルールなどの制度を活用して、地域の将来像実現のための取組みを進めましょう。
- ・計画実現に向けた活動費助成など、市も継続して支援を行います。

地域で合意形成されたまちづくりの計画やルールなどをもとに、まちづくりの取組みを進めることで、みなさんと共有した地域の将来像へ一歩一歩進んでいきます。

●出前講座

まちづくりに限らず、福岡市の取組みや暮らしに役立つ情報を、市の職員が皆さんのところへ訪問してお話しします。まちづくりでは、都市計画やみどりのまちづくりやまちなみのルールづくりなど様々な講座をご用意しています。

お届けします! 市政情報

出前講座

テーマ集

令和7年度版

ジャンル一覧

1 まちづくり・計画	2 くらし・コミュニティ	3 人権	4 子ども・教育
5 健康・福祉・高齢	6 文化・スポーツ	7 ごみ・環境	8 水
9 経済・産業	10 道路・交通	11 公園・花・みどり	12 安全・安心
13 市政のしくみ			

① まちづくり・計画

1. 福岡市の総合計画 ～市がめざす将来の姿～ ……8
2. SDGs(持続可能な開発目標)について ……8
3. みんながやさしい、みんなにやさしい
ユニバーサル都市・福岡 ……8
4. 都市計画ってなあに? ……8
5. 都心部のまちづくりについて ……8
6. みどりのまちづくりについて ……9
7. まちづくりってどうすると? ……9
8. みんなでつくるまちなみのルール
～良好な居住環境をめざして～ ……9
9. すべての人に使いやすい建築物を目指して ……9
10. まちの魅力を高める景観づくり ……9
11. 市街化調整区域の土地利用について ……10
12. ウォーターフロントネクスト
～中央ふ頭・博多ふ頭のまちづくり～ ……10
13. アイランドシティ整備事業について
～今年でまちびらき20周年!～ ……10
14. 九州大学のお引越し PART1
～九州大学学術研究都市づくり～ ……10
15. 九州大学のお引越し PART2
～箱崎キャンパス跡地のまちづくり～ ……10

●まちづくりアドバイザー派遣制度

地域まちづくり協議会設立以前の初期のまちづくり活動に対し、学習会の開催や地域の特性・課題の把握、住民アンケートの支援等をサポートする専門家の派遣を行っています。

「まちづくりアドバイザー派遣制度」による支援

まちづくり活動等に取り組むグループに専門的な知識をもつまちづくりアドバイザーを派遣します。



■SDGsについて

SDGsとは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略で、「誰一人取り残さない持続可能な社会」を実現するために、2015年の国連サミットで採択された、2030年を期限とする17の国際目標です。

福岡市では、多くの市民の皆様とともに策定した「福岡市総合計画」に基づき、経済的な成長と心豊かな暮らしのバランスが取れた持続可能な都市づくりを進めることにより、SDGsの達成に取り組んでいます。



